

平成 24 年 12 月

『新編八戸市史 近世資料編 』
3 - 4 「廻船出入帳」訂正版

平成 19 年度発行の『新編八戸市史 近世資料編 』に掲載しました「廻船出入帳」について、誤読や脱字など、資料解読の不十分な部分がありましたので、訂正版を発行いたしました。

お手数ではありますが、当該ページ（P187 ~ P207）と差し替えて御利用くださるよう、お願い申し上げます。

八戸市

三十四 回船出入の記録

安政六年(一八五九)正部家種康氏所蔵

「廻船出入帳」

(注) 船名の下に が付けられているのは、史料にも が付けられている。

一、九百六十文 白木綿

一、式ノ七百廿文 御收納

ノ右之通未三月卅日受取

一、(拾力) 刃式分六り 久吉丸増石

九拾石分

代式朱三百拾三文

三月廿四日 五兵衛取立

三番船

二月十八日入津 御手船々頭

一、千歳丸 源七

廿八日出帆

同船

入津之節問屋 山四郎

出帆改之節問屋 甚太良

三月卅日

一、式 朱 湊行積願請

甚太郎取立分

一、(同、以下同じ) 五百文 土産代同人取立

一、式ノ三百文 白木綿代 同人取立

一、式ノ文 支度代 同人取立

一、式歩 收納 同人取立

一、四百文 中湊梅屋権十郎

千歳丸積願受

同人取立

一、式百文 会津左蔵 積願

一、百文 長久丸常吉

小廻通船見舞

ノ金式歩式朱三貫四百文

式番船

二月十八日入津 御手船々頭

一、八幡丸 石松

右平瀉行帰帆

月九日巳中ノ刻久慈廻出帆

一、同船

問屋 甚太良

久慈廻二付爰許諸請無之

三月五日入津 御手船々頭

一、小宝丸 万吉

月五日出帆

吉番船

(二カ)

一、月十八日入津 御手船船頭

一、久吉丸 漣平

三月十日申下刻出帆同月同日

戌ノ刻出戻三月十二日辰ノ刻出帆

問屋 山四郎

一、四百文 土産代

一、八百文 料理代

一、同船

問屋 山四郎

百九拾五文

大徳丸

式艘分鮮

商内請

見舞

四月八日入津

長四郎船沖船頭

常州中湊近藤

和風丸

彦兵衛

五百石積

月十一日酉ノ刻出帆

一、同船

右大豆六百石御払頂戴

積参五月九日日本改相濟

諸收納相濟

黒砂糖拾樽積参

問屋 山四良

五月三日

一、銀拾匁

小宝丸万吉乘

式分六リ

増石九拾石之

御收納三月廿四日

五兵衛取立

代式朱三百拾三文

五月九日

一、四百文

土産代

一、八百文

料理代

一、九百六十文 白木綿代

式ノ七百拾文收納

此取受收納濟

右粒鮮拾万本積参

問屋 甚太良

五月九日

一、式朱

積願請

一、五百文

土産代

一、六百六拾四文

料理代

一、壹ノ式百文

白木綿代

一、式歩

收納

三月卅日

鮮商請

一、

前ノ松徳丸

之口江所々

出シ置ク

一、式百文 見舞

ノ

三月卅日

一、式歩式朱

松徳丸

月五日入津

御手船々頭

一、六拾八文

黒砂糖

商内請

一、萬歳丸 幸次良

右商人荷物并御家中

荷御用物積江戸表より参

五月八日午中刻紀州行出帆

一、同船

大豆粕積参

問屋 甚太良

五月朔日

一、四百文

土産代

一〃、九百五十八文 白木綿代

一〃、八百文 支度代

一〃、壹步貳朱

百六十七文 収納

一、貳百文 見舞

七月五日山四郎取立

通船 遠州掛塚平四郎船

四月十四日入津 冲船頭

一、幸運丸 久蔵

千四百五拾石積

魚油明四斗樽七百挺積参

問屋 山四良

四月廿五日出帆

一、同船 同人

一、貳百文 見舞請

七月五日受取

觀帝丸

四月十四日入津 野田直乘船頭

一、天當船 孫右衛門

空船二而参

五月十日出帆

一、同船

右同断二而出帆

問屋 山四郎

問掛 奥州箱館直乘

四月十九日入津 船頭

一、勢乘丸 蔵作

貳百五拾石積身欠鯡

貳拾四(王力) 箇四百本積参

皆商内受

一、収納濟夫へ出又

一、

問屋 山四良

問掛 津輕直乘

四月十九日入津 船頭

一、妙徳丸 清吉

貳百石積身欠鯡三百本積参

商売願受

一、百文

積改之内百本売

一、壹百文

仕切高五百四拾八文

問屋 山四良

通船 相馬中村源兵衛

四月八日入津 冲船頭

一、玄々丸 吉五良

四百石積空船

四月十六日午ノ刻出帆

一、同船

問屋 山四良

四月廿九日出帆

一、同船 同人

通船 江戸亀嶋丁

四月廿日 杜田屋三右衛門船

一、三宝丸 常吉

水主共拾六人乘

問屋 甚太郎

四月廿五日出帆

一、同船 同人

五月朔日

一、式百文 通船請

甚太郎取立

通船

四月廿八日入津 遠州掛塚直乘船頭

一、長榮丸 辰次郎

右千式百石積水主共

拾貳人乘松前船 下り
(江カ)

五月七日午刻出帆

一、同船

問や 甚太郎

五月朔日

一、式百文 見舞

通船 遠州掛塚川口屋

四月廿八日入津 文吉船沖船頭

一、浮木丸 喜作

右七百五拾石積松前江

下り 水主共七人乘

五月七日午刻出帆

一、同船

問屋 甚太郎

五月朔日

一、式百文 見舞

問掛 遠州掛塚

五月二日入津 孫八船沖船頭

一、万壽丸 清三郎

右千三百五拾石積水主共

拾五人乘此帆形拾七反

御役丁錢八百五十文取立

玄米三千俵四斗入

津輕越中守様荷物

五月五日出帆

同船

問屋 山四郎

一、三百文 請

七月五日受取

通船

五月三日入津 筑前残嶋船頭

一、虎幸丸 惣助

千七百石積水主共拾九人

乘糧米三拾俵塩噌少々

五月七日午刻出帆

一、同船

問屋 甚太良

一、式百文

見舞 甚太郎取立

通船 奥州箱館柄原

五月二日入津 覚兵衛船沖船頭

一、安寧丸 吉兵衛

七百石積水主共九人乘

五月七日午刻出帆

一、同船

問屋

山四良

一、式百文請

七月五日受取

通船 大坂加納弥兵衛船

五月八日入津 冲船頭

一、嘉悦丸 米十郎

千七百石積水主共拾六人乘

五月十七日出帆

一、同船

右御城米船二付

見舞錢不受取候旨

山四郎申出

問屋頭 山四郎

去巳ノ十一月 奥州箱館直乘

願之上場所揚

一、貴宝丸 徳蔵

右船此度願之上台下ケ国元江帰帆

通船

五月廿七日入津 伊達直乘船頭

一、金毘羅丸 伊右衛門

六月六日出帆

一、同船

問屋 甚太郎

一、百文 見舞 甚太郎取立

小廻船 越後鷯泊長左衛門船

冲船頭

一、通勢丸 定吉

問屋 甚太郎

一、百文 小舟通 御見舞

問掛

五月十八日入津 箱館最上屋徳蔵船

一、大神丸 十太郎

右八拾石積商物積

越後酒式斗入式拾樽大坂酒

四斗入五挺鱒油四斗入拾

挺式斗入式拾樽積受參

七月十四日出帆

一、同船

右爰元より昆布積出ル

問屋 山四郎

七月五日山四郎取立分

一、式百文 積願受

〃 右同断

一、百文 土産代

〃 右同断

一、五百拾六文 収納

〃 右三口七月五日 山四郎取立

一、百文 十三郎乘 小廻受

一、八百五十七文 酒梨子 商内受

右二口七月十二日甚太郎取立分

川入船

五月十八日入津 泊浦傳助船

一、永宝丸 万吉

右百石積 湊江相廻収納済

通船 津輕直乘

五月廿七日入津 船頭

一、妙徳丸 清吉

右貳百石積

六月六日出帆

一、同船

問屋

甚太良

七月十二日

一、貳百文 見舞 甚三郎取立

御前金

六月十六日入津 御手船々頭

一、八幡丸 石松

代り末吉

一、同船

右作事二付湊へ川入

一、同船

右作事濟鮫へ戻ル

十月十五日卯中刻出帆

一、同船

右八材木類ノ粕積入

十月九日改済江戸行

十月九日

一、金貳朱 積願受

一、四百文 土産代

一、九百五拾八文 白木綿

一、壹歩貳朱 収納

一、五百卅四文 支度代

右甚太郎取立

御手船

六月十八日入津 沖船頭

一、安全丸 長兵衛

七月朔日午中刻出帆

一、同船

七月二日巳中刻出帆

一、同船

一、同船

問屋

甚太郎

七月十二日

一、壹朱 積願受

一、百文 土産代

一、三朱十七文 収納

問掛

六月十八日入津 箱館直乘 船頭

一、勢乗丸 茂作

貳百石積久慈より廻り

六月廿八日

一、同船

問屋 山四良

七月五日山四郎分

一、百文

一、四ノ五百文 商内請

御切高貳千貳百五拾ノ文

御手船

六月十八日入津 御手船船頭

一、久吉丸 漣平

代り石松

十月十五日出帆

一、同船

右八ノ粕鉏類積入

江戸行十月三日改済

十月十一日

一、四百文 土産代

一、八百文 料理

一、九百六拾文 白木綿代

一、貳貫七百廿文 収納

甚太郎分

間掛 奥州沖船頭

六月十八日 箱館文吉船

一、惠風丸 多助

二百石積徳利入焼酎

二拾五茶四箇半積參

七月廿九日出帆

一、同船

甚太郎

八月六日

一、貳百文 積願

一、貳百文 減石受

一、百文 土産

一、壹、五百三文 収納

通舟 遠州掛塚太田屋

六月廿日入津 徳蔵船沖船頭

一、日吉丸 保平

千二百石積水主共拾貳人乗

七月十四日出帆

一、同船

問屋 山四良

一、貳百文 請

七月五日受取

御手船

六月廿二日入津 船頭

一、長壽丸 市十郎

六月廿四日湊川入二相成

六月廿四日湊川入

一、同船

九月廿一日湊より八木浦江相廻り

一、同船 同所より出帆

右中細鉏簀干鯛并昆布積入江戸行

十月十一日

一、貳百文 積願

一、百文 土産代

一、壹、百廿九文 収納

山四郎分

通船 越後半十郎船

六月廿五日入津 沖船頭

一、觀喜丸 喜右衛門

三百五拾石積 水主共七人乗

粮五俵塩噌少々

魚油拾挺但四斗入積參

八月廿七日湊川入十一月七日湊より

一、同船 空船改鮫廻り

十二月二日出帆

一、同船 問や

昆布積行 山四郎

七月五日

一、百文 見舞 山四郎取立

未十二月卅日

一、壹朱 積願

半掛分

一、貳百五拾文 土産代

一、六百元 白木綿代

一、壹歩 収納

三ヶ一分

一、三百三拾貳文 支度代

右五口甚太郎取立分

外二

式百文 川入請

御手船

六月廿六日申中刻入津沖船頭

一、順永丸 久兵衛

千式百石積水主共拾五人乘

木綿古手綿類取合

式百箇小間物荒物取合

式百七十五品同三拾壹品積

参

八月九日出帆

一、同船

問屋 甚太良

八月六日

一、四百文

一、九百五十八文

一、八百文

一、壹步式朱百六十七文

一、式朱

土産代

白木綿代

料理代

收納

積願受

御手船

六月廿六日戌下刻入津沖船頭

一、小宝丸 万吉

千三百石積水主共拾五人乘

御家中荷物共商人商内

荷物積参

七月廿八日酉刻市川廻り

一、同船

八月三日市川より戻ル

一、同船 粕三千百七十四俵積入来ル

一、同船

問屋 山四郎

申正月三日

一、百文

川岸改

一、壹朱

百五十七文 收納

收納

右二口甚太郎取立

市川積二付本收納無之

通船

撰州備 影嘉納 (御力)

七月二日入津 直乗船頭

一、濟通丸 利九郎

千七百石積 水主共拾六人乘

右粮米拾俵塩噌少々

此外一切積不申候

越後船下り候 (カ)

七月十日出帆

一、同船

問屋 甚太郎

七月三日

一、式百文

見舞

通船

撰州灘

七月三日入津

一、住社丸 正三郎

千七百石積水主共二拾七人乘

一、粮米拾五俵塩噌少々

七月十日出帆

一、同船

問屋 甚太郎

七月十二日

一、貳百文 甚太郎取立

一、三百文 見舞

七月廿五日出戻

一、同船

通船 越中国

御城米 摂州大坂辰屋仙助船

七月廿八日出帆

七月四日入津 直乗船頭

七月十日申中刻入津 冲船頭

一、同船

一、長宝丸 万十郎

一、寿徳丸 泰六

問屋 甚太良

貳百五拾石積水主共二七人乗

千五百石積水主共二拾六人乗

仙台武器積船箱館より帰帆二付

糧米七俵塩噌少々

糧米六拾貳石

昨年之振合二而收納差免

七月十三日夕出帆

羽州延沢村百姓

一、同船

上乘藤助

通船

江戸栖原多七船

問屋 甚太郎

上乘糧米三斗七升

七月十日入津 冲船頭

八月六日

問屋 山四郎

一、百文 入津受

一、御米四千貳百拾六俵卜

一、大源丸 源左衛門

八升但壹俵三斗七升入

糧米拾俵塩噌少々

問掛 筑前宮浦文四郎船

御城米船二付諸收納無之

七月十四日出帆

七月十日入津 冲船頭

一、同船

一、栄久丸 米蔵

通船 奥州仙台三河屋

問屋 甚太良

九百石積水主共拾人乗

七月十日入津 吉平船冲船頭

八月六日

玄米三千百五拾俵積參但四斗入

一、仙宝丸 幸蔵

一、貳百文 入津受

七月廿日出帆

千百石積水主共拾五人乗

一、弁天丸 重吉

一、同船

問屋 山四良

七月廿日出帆

問屋

十月十一日山四郎分

一、同船

甚太良

通船

五月廿七日入津 津輕直乘船頭

一、妙徳丸 清吉

二百石積

六月六日出帆

一、同船

二重書前二有之

消

問屋 甚太良

七月十二日

一、百文 甚太郎取立差出

問掛 奥州松前江刺

六月廿八日入津 六兵衛船沖船頭

一、大徳丸 福松

身欠鮮廿四把入二百本

同 廿八把入二百本

八月三日出船

一、同船

問屋 山四良

十月十一日山四郎

一、式歩式朱 鮮商内受

百六拾七文

未十一月廿八日山四郎

一、百五拾文 見舞

一〃、百文 土産代

一〃、式拾三文 延鉄拾箇収納

久慈積出

問掛 箱館八兵衛船

七月十六日入津

一、長喜丸 万吉

右式百石積荒鋸中細鋸積入久慈より

出帆当浦問掛り

七月廿九日出帆 山四郎申上無之届

(墨消)
御座候「出役」

一、同船 山四郎

御領内積出し帆形役銭無之

八月六日甚太郎より

一、式百文 見舞

一〃、三十文 瀬戸物請

一〃、式百文 別段請

通船

七月廿二日入津 越中直乘船頭

一、万徳丸 喜右衛門

三百石積水主共五人乗

八月十六日湊川入願

一、同船

九月十七日鮫廻り

一、同船

九月廿六日朝より出帆

一、同船

右者美濃屋宗七郎

昆布積 問屋

箱館行 甚太良

九月廿一日日本役済 出役山四郎

十月九日甚太郎より受取

一、百文 見舞

十月十一日山四郎より受取

一、壹朱 積願受

一〃、四百文 川出入

一〃、壹歩 収納

一〃、五百文 白木綿代

- 一、貳百五十文 土産代
- 一、三百五十文 料理代

乗落船 青森大槌市兵衛船

七月廿四日入津 冲船頭

- 一、八幡丸 由松

三拾石積漁船水主共

拾五人乗空船粮米貳俵

塩噌少々

七月廿五日出帆

- 一、同船

右入津出帆

- 一所二廿六日御届申上候事

甚太郎

間掛 伊達直乘

七月廿八日入津 船頭

- 一、金毘羅丸 伊右衛門

八拾石積水主共三人乗

数之子 六拾本

唐薬種藻木取合貳箇

粮米五俵塩噌少々

右之通積参

右荷物甚太郎へ預置廿三日町宗七郎より被
雇昆布積箱館江出帆之願差出内見致候事

甚太郎

八月四日

(貼紙)
「八月 出帆」

- 一、同船

右廿三日町宗七郎昆布積箱館行

九月廿一日箱館・帰帆

- 一、同船

湊川入湊川浮猶鮫廻

- 一、同船

八月六日百文 通船見舞

十月九日甚太郎より受取

- 一、貳百文 間掛受

十二月廿六日出帆問屋甚太郎卜願置候

数之子積帰

- 一、同船

(貼紙)

「未十二月卅日甚太郎

- 一、百文 土産代

- 一、貳百文 昆布積請

- 一、壹朱四十文 収納

十二月卅日山四郎

- 一、貳百文 川入請

- 一、貳百文 川浮請

- 一、壹貫文 破船請

湊より鮫廻り 津輕青森

(カ)
十月 百次郎船冲船頭

- 一、長宝丸 清助

一、松七分板貳千貳百五十枚熨斗八

箇積願被仰付積附改相濟候処八

月十三日大風雨二而白銀 二吹流

破船二相成取揚荷衰八箇板千貳

百八拾枚船道具類引揚八月十五日

破船始未受書差出ス

十月十一日山四郎より受取

- 一、貳百文 積願

- 一、百文 土産

- 一、三百拾三文 収納

- 一、壹貫文 破船請

通船 常州那賀湊

八月廿二日入津 梅屋権左衛門船

一、稻荷丸 浜之丞

三百石積空船

八月廿三日出帆

一、同船

問屋 山四郎

十月十一日山四郎より受取

一、百文 見舞

通船 紀州栖原寛兵衛

八月廿二日入津 船沖船頭

一、輪宝丸 吉兵衛

四百石積

八月廿三日出帆

一、同船

問屋 山四郎

十月十一日山四郎より受取

一、式百文 見舞

通船 筑前残嶋直乘

八月廿二日入津 船頭

一、国豊丸 兵次郎

千六百石積

八月廿三日出帆

一、同船

問屋 甚太郎

十月廿日甚太郎より受取

一、式百文 見舞

問掛 相州西浦賀紀伊

八月廿四日入津 国や六兵衛船沖船頭

一、宝来丸 源次

水主共拾式人乗

八百石積

粮米三拾俵塩噌

米式千式百八拾俵但四斗入

右秋田様御荷物積參

問屋 甚太郎

八月廿七日出帆

一、同船

十月九日甚太郎より

一、三百文 見舞

九月十日帰帆御前金船

一、安全丸 長兵衛

右御用物并御家中荷

商人荷物薩摩

芋百六拾俵積来

商売願之通被仰付

九月廿九日辰下刻出帆

一、同船

右荒鋸三百三拾四箇

簀千鯛式千四百俵

積入九月廿一日川岸改相済江戸行

甚太郎

十月九日甚太郎より

一、式百八拾卷文 芋商受

一、式朱 積願受

一、百文 土産

一、三朱十七文 収納

九月七日入津 箱館最上や徳蔵

沖船頭

一、福吉丸 重太郎

八拾石積水主共三人乘

糧米五俵塩噌少々

一、魚油壹樽 但式斗入

一、箇物貳ツ
(カ)

湊新丁野田や孫次郎江

同一宅江送り

一、塩鮭 三百六拾本

右最上や八兵衛より問屋

山四郎江之送り物

甚太郎

湊川入

一、同船

湊より空船改相濟出帆

一、同船

十月九日甚太郎

一、百文 見舞

一、貳百文 川入請

十一月廿八日山四郎

一、貳百貳拾文

右積六兩貳朱

百九十四文受取

破船

十月四日夜乗込

一、白山丸

山四郎

十一月廿八日山四郎

一、壹ノ文

内五百文

浦状受

破船請

通船

奥州松前江刺六兵衛船

沖船頭

一、大徳丸

福松

(貼紙カ)
「積願受有之」

諸受不出分

六月六日午下刻出帆

一、同船

問屋 甚太郎

十月十一日山四郎より

一、貳百文

延鉄積願請

問掛

十月七日入津 松前江刺直乗船頭

一、長栄丸 市三郎

右小麦貳百俵積入仙台より松前行

十月十九日出帆

一、同船

問屋 山四郎

十月十一日山四郎

一、百文

見舞

住社丸

一、橋 船

右本船尻矢先二而破船二相成諸道具
積廻當浦江入津

問屋 甚四郎

十月九日甚太郎より

一、百文

見舞

一、勇勢丸

十月十一日山四郎より

一、貳百文

見舞

間掛

十月 久慈豊右衛門沖船頭

一、貴徳丸 鉄之助

右塩引四百本積入

入津爰元商売願被仰付

一、同船

右御雇船被仰付仙台石巻行簀干鯛

千四百拾俵荒鋸七拾石目御領内廻

久慈積入十月廿日川岸改濟

十一月廿八日山四郎

一、貳百文 見舞

一、七百五十三文 商受

十一月二日甚太郎

一、壹朱 積願受

一、百文 土産代

一、三朱十六文 収納

御前金船

十月廿一日 卯下刻入津 沖船頭

一、小宝丸 万吉

右御用物御家中荷町家荷積入

江戸表より帰帆

十一月十二日巳ノ刻出帆

一、同船

問屋 山四郎

十一月廿八日山四郎

一、貳朱 積願請

一、四百文 土産代

一、八百文 料理代

一、九百六拾文 白木綿

一、貳ノ七百貳拾文 収納

申正月三日甚太郎

一、百文 川岸改土産代

一、壹朱百五十七文 収納

通船 大坂加納弥兵衛船

十月廿一日入津 沖船頭

一、嘉悦丸 米十郎

右千六百石積松前より帰帆但此船

当五月八日入津之節八千七百石

積也書上ケ二相成
(力)

十一月五日巳ノ刻出帆

一、同船

問屋 甚太郎

十一月二日甚太郎

一、貳百文 通船見舞

一、貳朱 積願受

一、五百文 土産代

一、壹ノ貳百文 白木綿代

一、貳歩 収納

一、壹ノ文 仕度代

十月廿五日入津 御手船々頭

一、順永丸 久兵衛

千貳百石積水主共拾三人乗御用物

并御家中荷物商人荷物商売物薩摩

芋積参

十一月十四日巳ノ刻出帆

一、同船

右江戸行出帆

問屋 山四郎

十一月廿八日山四郎

一、式朱 積願受

一〃、四百文 土産代

一〃、八百文 料理代

一〃、九百六拾文 白木綿代

一〃、式〱七百廿文 収納

一〃、五百四十四文 薩摩芋商受

十一月廿六日 箱館大場茂兵衛船

沖船頭

一、善宝丸 彦兵衛

式百石積

右松前役所荷物并商売物粒并商物

積參商売願之通被仰付

十二月十二日濱川入船困年越

一、同船

問屋 甚太郎

十二月卅日

一、式百文 見舞

一〃、式百文 川入請

一〃、壹歩式朱七百九文 商物受

間掛 越後岩船

十一月卅日入津 直乗船頭

一、龍幸丸 半四郎

三百五拾石積

帆形八反役丁錢四百文

一、筋子式拾樽塩引式万五千本積入津

松前揚所より積出又

十二月二日出帆

一、同船 問屋 甚太郎

十二月卅日甚太郎

一、式百文 間掛受

十二月九日入津 箱館八兵衛船

沖船頭

一、長喜丸 万次郎

式百石積塩引三千本積參商売

願之通被仰付

右船御雇船被仰付簀干鱒九百俵鉏式

百箇積立尚又追積荒鉏百箇積入中ノ湊

行川岸改相済

問屋 山四郎

十二月廿六日出帆

一、同船

十二月卅日山四郎

一、四百文 積願受并追積受

一〃、百文 土産代

一〃、三朱三十三文 御収納

一〃、壹歩式朱四百十六文 商内受

鮫より廻ル

旧冬川入 箱館大蔵船沖船頭

一、明刀丸 嘉吉

三月十二日帰帆空舟改

三月廿四日 藤

一、式百文 川浮請五兵衛取立

泊行空船改

三月十二日川浮 湊村仁兵衛船

一、漁 船 松太良

右出役安藤八十八改

積来諸受無之

四月六日川入

一、未ノ春湊ニ而作事願有之

旧冬十一月気仙行

一、同船

未三月十四日帰帆川入御前金船頭

右檣柱八百丸積參但御調御用物

一、のし苺産積願有之

一、長寿丸 市十良

外二檣柱三百丸自分物

問屋 源之助

右唐竹廿本湊村源之助江之送物積參
八木浦より八月廿一日出帆

問屋 五兵衛

三月廿四日

川入 市川漁船直乗船頭

一、同船

一、貳百文

川浮請五兵衛取立

一、漁船 与五郎

右諸收納鮫問屋山四郎より差出又
右二記置鮫ノ方可見遍

一、貳拾文

明刀丸市川漁船与五郎乘湊仁兵衛松太郎

右八檣柱貳百丸石橋徳右衛門江
送物積来

乘之料紙水引代ノ高

商売願不差出請之義八受書差出
候間問や五兵衛船宿利助を以申出

四月十六日川浮 湊村仁兵衛船船頭

五月三日

一、貳百文

榎三百丸商内請

三月十四日空船改安藤八十八出役

一、漁船 松太良
四月十六日空船都筑嘉兵衛出役

五兵衛取立

問屋 五兵衛

五月九日川入

五月三日

一、拾文

料紙代同人取立

三月廿四日
一、百三拾貳文 檣柱貳百丸之商内請

一、同船
榎三寸柱八百丸 同五寸角拾六本

旧冬川入 箱館神明町孫三郎船

一、四百文 川入川浮請五兵衛取立分

沖船頭

五兵衛取立

同まぢら貳拾四挺
右之通積參候
吉田源之助

一、龍神丸 由松

三月十四日川浮 湊村

四月廿七日

三月十四日川岸改出役安藤八十八

一、漁船 重吉

一、貳百文 川浮請源之助取立

一、旧冬塩引六千本

右泊行空船改安藤八十八出役

一、五文 紙水引代源之助取立

一、 疋八百丸并まつら
者御用物二付請無之

四月十六日空船改川浮湊村直乘船頭

一、惠比須丸 長松

四月十六日空船改都筑嘉兵衛出役

六月卅日川入

一、同船

右檣柱四百六拾丸并檣角類まつら

積參新丁岩太郎より商売願差出七月

十一日願之通被仰出

川浮問屋 五兵衛

川入 源之助

五月三日

一、式百文 川浮請五兵衛取立分

一〃、五文 紙水引代同人取立

四月十六日川浮 湊村清七船沖船頭

一、漁 船 新之助

四月十六日空船改出帆

都筑嘉兵衛出役

五月三日

一、式百文 川浮請五兵衛取立
一〃、五文 紙水引代同人取立

四月廿二日川入 宮古重吉船沖船頭

一、弁天丸 仁兵衛

杉五分板百丸小唐竹五拾本

魚油七挺積參

五月七日川浮願差出

一、同船

空船二而出帆之筈

(墨消)
「五兵衛」

七月廿四日

一、六百四十六文 魚油四拾挺

杉板百丸之商受

五兵衛取立

一、式百文

川出入請
同人取立

五月五日川入 泊浦傳助船沖船頭

一、永宝丸 万吉

空船二而川入

收納済 問屋 吉田源之助

七月朔日

一、百五十三文 烟草九十五箇積入

收納

一〃、式百文

川浮請

一〃、式百文

積願請

一〃、拾五文

紙水引代

去午三月廿日川入 江戸深川湯浅屋与右衛門

船

沖船頭

一、天照丸 松太良

未五月十八日川浮右同断

一、同船 久治

川浮請済

問屋 吉田源之助

五月廿七日

一、式百文 川浮願受源之助取立

一〃、五文 紙水引代源之助取立

六月七日川浮願湊仁兵衛船沖船頭

一、漁船 松太郎

右泊浦江商内物材木積二願之上

川浮

六月廿九日入川

一、同船

右泊浦より御用物布海苔并材木積

帰帆

五兵衛

一、貳百九十五文 商内受取

一、貳百文 川入受

六月 入津 泊浦清助船沖船頭

一、小 漁 岩松

檜杵百五拾丸 但杵丸五百枚詰(カ)

同六寸角拾本 但長十四丈物

同五寸角貳拾杵本 右同断

糧米吉吹塩噌少々

收納済

一、貳百文 川入請

一、百廿四文 檜杵百五十丸

六寸角拾本

五寸角廿一本

商売請

津輕青森百次郎船沖船頭

一、長宝丸 清助

右身欠鮮積参

七月廿五日川浮願

一、同船

七月廿五日空船改都筑嘉兵衛出役

鮫へ相廻る

一、同船

問屋 五兵衛

(貼紙)
「此請不束なれとも長三郎申分任

引金者追而吟味可致候長三郎是

といふ事二付

七月十三日

一、貳ノ八百十六文 身欠鮮商請兩人分

内巻ノ四百八文 手前分

七月廿七日

一、貳百文

川浮請五兵衛取立

六月晦日川浮 湊仁兵衛船沖船頭

一、漁 船 松太郎

右者川口御役所下役共限二而空船改

相濟六月晦日改二相成

七月十四日川入

一、同船

松七分板五百四十八丸御調御用物

積参

問屋 吉田源之助

八月六日源之助より

一、貳百文 川浮受

一、十五文 水引代

七月十二日川入 五戸万之助船沖船頭

一、和合丸 豊吉

杵百五拾丸車かひ廿繰積参

問屋 五兵衛

七月廿五日川入 宮古喜助船沖船頭

一、漁船 龜之助

水主共四人乗

七月廿五日川浮空船改都筑嘉兵衛

問屋五兵衛より受取

杉柁百貳拾丸 但壹丸五百枚詰

一、同船

箱館大町金沢や

同 貳拾丸 但壹丸六百枚詰

問屋 五兵衛

出勺子海具八艘分

七月廿七日

七月廿二日川入 伊兵衛船沖船頭

ノ

右之通積參

一、貳百文

川浮請五兵衛上納

一、勢乘丸

茂作

七月廿五日川浮願

一、百貳文

杉柁百拾丸商受

弁財造貳百五拾石積

水主共七人乗

一、同船

料紙代

塩鱒千五百本船頭商物積參

七月廿五日空船改都筑嘉兵衛出役

七月廿五日川浮願 湊村仁兵衛船

八月廿五日空船改相濟候処猶又願之上

問屋 吉田源之助

一、漁 船

松太郎

一、同船 願之上 鍬鍋寒天玉子蒜積入

八月六日

水主共四人乗

願被仰付八月廿七日川岸改相濟

一、貳百文 川入請

空船二而出帆改出役都筑嘉兵衛

吉田源之助

一、百四十四文 商内請七拾貳ノ文請

九月十日

九月十五日出帆

一、貳百文 川浮請

一、同船

榿三寸柁五百三拾丸 但壹詰

一、同船

右吉田源之助取立

五百枚詰

右湊より鮫浦相廻り日和待之処

九月十五日鮫より出帆致候事

弁天丸

同六寸角三拾貳本 長サ

七月廿二日川入訴 宮古重吉船沖船頭

壹丈四尺

八月十六日川入 大畑大場文蔵

一、漁 船 仁兵衛

同五寸角 貳拾五本 右断

船沖船頭

水主共四人乗

右商売願被仰付候事

一、五郎丸 忠右衛門

杉柁百拾丸 但壹丸六百枚詰

問や 吉田源之助

弁財造貳百石積 水主共五人乗

出勺子海具拾艘分積參

一、貳百文

川浮請 七月廿七日

糧米壹俵塩噌少々

八月廿五日空船改相濟

一、同船

源之助 五兵衛

九月廿三日出帆御前金船々頭

一、長寿丸 市十郎

右簀干鰯五拾石中細組三百三拾四箇

鼻打昆布百貳拾箇切昆布六千貫

目積立八木浦二而川岸改二同所より

江戸行出帆

問屋 山四郎 五兵衛

宮古藤原村

十一月二日入津 直乘船頭

一、宝菜丸 重蔵

生小鮪四百八拾本 塩鱒五百本

積參商売願之通被仰付

十二月

一、同船

十二月十三日 箱館直乘船頭

一、青運丸 仁太郎

弁財造貳百石積 水主共七人乘

糧米五呬塩噌少々

一、玄米拾五俵 昆布三百把

一、生加春遍以九百枚 魚油拾樽

一、起炭五拾俵 貳間角九本

一、生鱒四拾本 積參

一、同船

右船困年越願之通被仰付

十二月十三日川入 宮古藤原村直乘船頭

一、小漁船 久次郎

水主共四人乘

一、

鮭塩引百五拾本

一、唐竹大小百本 積參

十二月廿四日帰帆二付同船空船改相濟

湊問屋 源之助

奥州箱館沖船頭

一、惠風丸 多助

奥州箱館最上や徳兵衛船頭

一、福吉丸 重太郎